

チャトゥラ・リヤナラチッチ研究員（スリランカ）



はじめまして。私はスリランカから来ましたチャトゥラと申します。母国スリランカでは、防災人権省防災センターで働いています。防災人権省における私の活動としましては、他の関係機関との連携強化のため、例えば水資源にかかる国家委員会、災害管理計画の策定、国民の安全を守る国家委員会など、各種組織運営の調整担当を対応しています。

スリランカにおきましては、過去 30 年間に於いて様々な種類の自然災害が発生してきました。さらに今後におきましても、洪水、干ばつ、地滑り、サイクロンなどの大規模災害の発生と甚大な被害が危惧されています。皆様の記憶に大きく残っている災害としては、2004 年 12 月 26 日に発生したスマトラ島沖地震だと思えます。スリランカも被災国のひとつとして、大きな被害が生じました。

次に、スリランカにおける防災に関する法律や組織について説明いたします。スリランカにおいては、2005 年 5 月に防災法が策定されました。この法律に従い、スリランカ国内において防災の最高意思決定の機能を有する国家防災委員会が設置され、さらに、防災に係る様々な活動を実際に管理運営し、他機関をけん引する重要な役割を担う防災人権省防災センター（DMC：Disaster Management Center）が設立されました。この、私が所属する防災人権省防災センターは、スリランカ国内の防災力向上のため、毎年様々な防災活動を実践しています。

最後に、お礼としまして、今回の客員研究員の機会を与えて頂いたスリランカと ADRC に感謝述べたいと思います。滞在中は、日本が有する知見や経験を学び、スリランカ国における防災法に係るガイドライン等の検討をしたいと思えます。日本は世界でも有数の災害多発国で、災害前の予防、災害直後の対応等、全ての局面で効果的な防災対策が講じられていると思えます。このようなことから、今後も DMC と ADRC が連携し、お互いの国の防災に関する情報を共有することが大切であると思えます。滞在期間中、多くの知識を得ることに尽力し、改めて皆様にお礼を申し上げます。